



はやま



平成26年(2014年)

11月号

No.536

特集 あなたに**届け**

この町のこと



今月号は、葉山町の
情報発信を紹介
します。



いろいろな
町の話題を
まとめて
読みたい



気になる
情報を
すぐに
調べたい



災害警報や
開花状況を
みんなと
共有したい



文字よりも
音声で
町のことを
知りたい

特集

あなたに 届け この町の こと

町の情報を発信しているものを
紹介します。自分に合ったものを
見つけて活用してみましよう。

今月の目次

特集 あなたに届け この町のこと……	2
子育てひろば ……………	8
健康情報 ……………	10
教育委員会だより ……………	12
町からのご案内—拡大版—……	14
・ 秋季全国火災予防運動	
・ 防火ポスターコンクール	
・ 消防団員の募集	
・ 11月9日は119番の日	
その他ご案内いろいろ ………	16
でんごんばん、人口 ほか ……	18
創意くふう展の受賞者 ………	20
総合防災訓練・防災キャンプ……	21
葉山町長コラム ……………	23

1



広報はやまは、毎月1日に発行される24ページの冊子で、各家庭に配布しています。内容は、特集記事や町長コラム、子育てや健康、生涯学習情報に関すること、町からのご案内や出来事を写真で紹介しています。

広報はやま



2



町のホームページは、インターネットから「葉山町」と検索してください。イベントなど新しい情報のほか、町の制度の詳しい案内、子ども向けのページなどがあります。



ホームページ



3



SNS（ソーシャルネットワーク）は、インターネット上で人々の交流ができるサービスのことです。町では、防災情報を発信するツイッターと葉山しおさい公園の開花などを伝えるフェイスブックがあります。

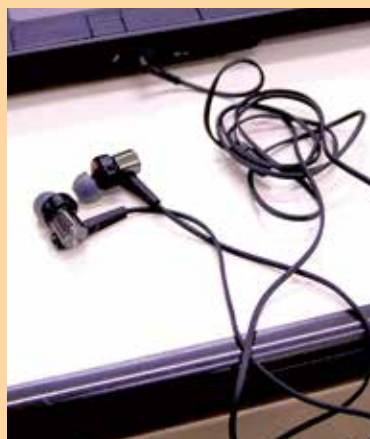
SNS



4



逗子・葉山コミュニティ放送の湘南ビーチFM（78.9MHz）では、「トークイン葉山」（毎週月・水・金曜10時15分）と「わっしょい葉山」（毎週火曜10時40分）の二番組などで町の情報をお知らせしています。



FMラジオ



1 広報はやま

町民と町とをつなぐ絆

60年以上の歴史

広報はやまの歴史は、今から61年前の昭和28年までさかのぼります。日本で初めてのテレビジョン放送があったこの年、『葉山広報』として白黒のタブロイド版（スポーツ新聞の大きさ）1枚が発刊されました。当時の町長亀井辰雄さんは、発刊のことばとして「広報は町民各位と町当局をつなぐ絆」であると言っています。印刷方法やページ数は変わりましたが、この「町民の皆さんと町とをつなぐ絆」という精神は、今も変わらずに受け継がれています。



▲左上が第1号、右下が最新号で、時代によって大きさや色が変わっています

広報紙の制作過程

現在の広報はやまは、町の企画調整課という部署で作られています。毎号の表紙や特集記事は、編集会議を経て年間スケジュールが決定し、それに基づいた取材、記事の編集を

しています。同時に各課からのお知らせ記事を集め、全体を構成し、発行日の10日ほど前に完成します。



▲取材には、カメラやレンズ、筆記用具など必要なものがたくさんあります

広報紙が届かない

現在広報はやまは、1日から3日までの間に、各家庭に配布されるようになっていきます。その他、町内の図書館や会館・児童館、郵便局やコンビニなどの施設に配架しています。ご自宅に届かない方は、お手数ですが企画調整課（☎内線333）までご連絡ください。

声の広報

視覚に障害のある人や長時間文字を読むことが苦手な人などを対象に、広報紙の音訳CD「声の広報」があります。制作しているのは「音訳の会 葉山やまばと」の皆さんです。町HPから電子データでも聞くことができます。

町在住・在学・在勤で、「広報紙の企画に出たい」、「紙面に協力してみたい」という人を募集しています。記事内容に条件が合う場合、随時ご連絡します。詳細は町HPのお知らせをご覧ください。

対象 広報紙に名前・写真を掲載できる人や団体

申込み・問合せ 郵送か持参で、「広報はやま町民モデル」と明記し、住所・氏名（ふりがな）・生年月日・簡単なプロフィール・電話番号を明記し、全身が見える写真を添付して企画調整課まで。☎内線333

締切 12月26日（金）※登録期間は約1年です。



▲家族の思い出にいかがですか？

現担当者と元担当者

広報はやま こぼれ話

約20年前まで企画課（今の企画調整課）の職員として広報はやまの制作に携わっていた矢嶋さんにお話を伺いました。

高野 当時の広報紙と現在のもの、どんな違いがありますか？
矢嶋 基本は変わってないですね。写真を交えた記事で町民の人を紹介しているところとか。

高野 苦労していた点は？
矢嶋 専門用語を使わずにわかりやすくすること、誤字脱字の校正に気を使いました。
高野 文章のわかりやすさ、正しさは大切ですね。私も毎号苦労しています。

元担当者



矢嶋 信幸さん

高野 矢嶋さんが撮った写真は今も町勢要覧などに掲載していますが、写真へのこだわりは？
矢嶋 「感動」を大切にすること。写真は瞬間を切り取るものですが、日頃から色々なことに興味を持って、自分が感動した瞬間を撮る。そうすることで読者の皆さんにも伝わると思っています。

高野 広報紙作りで印象に残っていることはありますか？
矢嶋 広報紙に掲載した上山口の千枚田（棚田）の写真を天皇陛下がご覧になって、訪れたことがあったのですが、とても感激しました。葉山町の広報担当者ならではのすよね。

高野 今後の広報はやまはこうなっていきたい、というアドバイスをいただけますか。
矢嶋 広報紙は身近な存在なので、その親近感を大切にしていきたいと思います。また広報担当者としては、日頃から町内のニュースに誰よりも関心を持つ姿勢が必要だと思います。
高野 親近感、まさに今の広報はやまが目指すものだと感じています。これからは、今まで以上に日々の出来事に関心を持ち、「私の感動」を「皆さんの感動」として伝えることができるようにしていきます。

取材を終えて
当時の苦労話や広報紙への思いには、共感するところがたくさんありました。それと同時に私も人の心を動かすような紙面を作りたいと改めて感じました。頑張ります！



▲矢嶋さんが制作していた平成5年の広報はやま

広報はやまを一緒に盛り上げませんか？

町民モデルを大募集

年齢不問！友人や家族、ペットもOK

現担当者



企画調整課 高野

広報はやま1月号

町のホームページを担当する
企画調整課の保永 主事に
ホームページのことを聞きました！

最新の情報をすぐにチェック！

「調べたい」を簡単に！



まずは見てみよう

ホームページの良いところ、それは「いつでも・どこでも・すぐに見ることができる点」です！インターネット環境があれば、休日や夜間など町役場が閉庁している時でも、町の情報を知ることができます。トップページのお知らせやイベント情報は、新しいものが一番上に表示されているので確認してみてください。

インターネットを普段使わない、苦手な人には、「検索」ボックスがおすすめ。調べたい言葉を入力するだけで、欲しい情報を簡単に手に入れることができますよ。

こどもページも！

葉山町には、子ども向けのページもあるんです。ここでは町の形や景色など、大人でも間違ってしまうようなことをクイズ形式で学ぶことができます。他にも児童館の行事予定や困った時の相談先などを掲載しているのので、保護者の皆さんには、子どもと一緒に遊びながら見てほしいです。

「はやまこどもページ」と検索するか、町ホームページのトップ「こどもページ」からは非ご覧ください。

総務課 防災係の
小峰 主事補に
防災ツイッターのことを聞きました！

気になる情報はシェアしよう

あなたと情報を共有



いざという時に

葉山町では、防災行政無線の補完手段として、「防災情報メール(bousai.hayama-t@ktaiwork.jp へ空メールで登録)」、「災害案内電話(☎875-4000)」などのほかに、ツイッターを更新しています。ツイッターは、大きな災害で電話やメールなどが使用できない場合の情報伝達手段としても活用されているんです。

町の防災に関する情報は @hayama_town をフォローしてください。

どんでんシェアを

SNSの長所は、他の人と情報を共有しやすいというところにあります。リツイートやシェアなど、一回クリックするだけで、警報などの災害情報を家族や友人などにも共有して伝えることができるのは便利です。よね。

また、町では「葉山しおさい公園花だより」というフェイスブックで、季節の花やイベント、富士山や夕日の景色などを更新しています。フェイスブックの情報を町外の人にもシェアして、葉山の魅力をどんでん広めていきましょう。詳しくは、「しおさい公園 フェイスブック」でインターネット検索してください。



番組パーソナリティの
森川 いつみ さんに
ラジオのことを聞きました!

葉山の魅力を声で届けます

声だからこそ伝わること



「安心」を届けたい

ラジオの魅力はなんといっても即時性のある情報、そして声を通じてリスナーに安心感を届けられること。放送する時は、マイクに向かって話すのではなく、そこに誰かがいると思っ、聴いてくれている人を想像して語りかけています。

東日本大震災時には、通常の番組を緊急災害放送に切り替え、スタッフ総出で情報提供を続けました。後日「停電の中、唯一の情報源だった」、「パニックになりそうだったが、ラジオからの声を聴いて落ち着くことができた」という声をいただき、改めて災害時におけるコミュニティ放送の役割を強く感じました。

世界に葉山を発信

町からの情報は、主に広報紙やHPを基に、そこで掲載しきれなかった部分についてゲストを呼んでお伝えしています。今はインターネットを介して放送を聴くこともできるようになり、日本中、世界中の人に届くものとなりました。そこで葉山の旬な話題や情報を発信して、これからも「素敵な葉山」、「葉山の魅力」を多くの人に伝えていきたいと思っています。

まだまだある！町の情報発信



広報板 (町内 54 か所)

町・県・国からのお知らせや町が共催・後援するイベントなどを掲示しています。掲示は毎週水曜日に変わります。



町内会回覧

町内会・自治会を経由して、原則月2回、回覧しています(町内会・自治会に関する問合せは町民サービス課へ)。



議会だより

葉山町議会では、年4回の定例会ごとに広報紙を発行し、定例会・各委員会の審議・審査結果や一般質問等をお知らせしています。

「こんな記事が読みたい！」など

広報に関するご意見は企画調整課まで